

中路融人記念館 開館十周年記念展

まな
眼

うら
裏

の

榛

の

木

—心の原風景—

令和8年

9月1日(火)——11月29日(日)

会期中の休館日 毎週月曜日(9月21日、10月12日、11月23日は開館)、
9月24日、25日、29日、10月13日、14日、11月4日、24日、25日

入館料 大人300(250)円、小中学生150(100)円 ※()内は20名以上の団体料金

東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

日本画家・中路融人の作品を展示しその画業を伝える中路融人記念館は、今年で開館10周年を迎えました。これまでさまざまなテーマで企画展を開催してきましたが、本展では中路の愛した湖北の原風景「榛の木」の風景についてひもときます。

母の故郷である滋賀県の自然に幼いころから親しんだ中路は、60年以上におよぶ画業の中で滋賀県各地の風景を描きました。中でも関心を持ち、多くの作品に残したのが榛の木のある風景です。

榛の木は、かつて湖北地域を中心に田の畦に植えられていた畦畔木で、農家のくらしに密接にかかわった木でした。しかし、昭和後期に県内で始まった圃場整備や農業の近代化に伴って伐採され、湖北を象徴する風景だった榛の木の木立は現在では見るることができません。中路は、消えゆく榛の木の情景を惜しみ、残された榛の木を追いかけて各地に写生に赴きました。

本展では、中路の残した作品によってかつての榛の木の風景が展示室によりがえります。中路が生涯魅せられた湖北の原風景をぜひご覧ください。

【関連展示】

写真展「畔の木の詩」

1階ギャラリィで湖北の風景を長年に渡り撮影した写真家・吉田一郎さんの写真パネルを展示します。

【関連事業】

トークイベント「眼裏の榛の木心の原風景」

令和8年9月12日(土) 14時から16時まで
会場…てんびんの里文化学習センター

ホールあじさい

申込みフォーム



出展作品やイベントの詳細については

ホームページをご覧ください。



掲載作品「野の川」

開館30周年記念展「The 近江商人-立身出世ものがたり-」9月19日(土) ▶ 12月6日(日)
近江商人博物館で同時開催



東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 滋賀県東近江市五箇荘竜田町583番地（てんびんの里文化学習センター内）
TEL 0748-48-7101 IP 050-5802-3134

- 開館時間／午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 休館日／月曜日・祝日の翌日・年末年始（臨時休館あり）
- 入館料／大人300円（250円）小中学生150円（100円）※（ ）内は20名以上の団体料金
- 交通機関／・JR琵琶湖線 能登川駅から近江鉄道バス「八日市駅行」で「金堂」または「ぶらざ三方よし前」下車徒歩約15分
- ・近江鉄道 五箇荘駅から徒歩約25分
- ・名神高速道路 八日市ICから車で約20分、蒲生SICから車で約25分、湖東三山SICから車で約25分、竜王ICから車で約30分、彦根ICから車で約40分

